

埼玉県	2013 ～ 2015 年	生活介護 ネットワー ク	<ul style="list-style-type: none"> <li>●第1次調査(在宅支援事業所へのアンケート調査)</li> <li>●第2次調査(小規模多機能事業所とグループホームへのアンケート調査)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●本人の属性、状況、受診のきっかけ、主介護者、家族構成、経済的状況、相談窓口、サービスの受給、家族から介護上の不安、家族が他の家族との関係における問題や変化、課題や問題・要望、他職との連携についての問題・必要と思うこと</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●第1次調査:県内の在宅支援事業所 1,117</li> <li>●第2次調査:県内の小規模多機能事業所 80 か所およびグループホーム 370 か所</li> </ul>
千葉県	2007 年	千葉県	<ul style="list-style-type: none"> <li>●第1次調査(居宅介護支援事業所・在宅介護支援センター・地域包括支援センターへのアンケート調査)</li> <li>●第2次調査(事業所等および家族へのアンケート調査)</li> <li>●第3次調査(家族へのヒアリング調査)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●第1次調査:現在、各機関で把握している方の中に65歳未満の認知症の方がいるかどうか。又は過去5年間に把握していた方がいたかどうか。対象者については年齢、性別、現在の処遇(在宅・入院・通院・入所・通所・死亡)</li> <li>●第2次調査:【事業所宛】診断名、診断年齢、現在の状況、介護保険サービス受給状況、障害年金受給状況など【家族宛】介護者、介護年数、日常生活の困難さ、家族の生活の変化など</li> <li>●第3次調査:アンケート調査から得られた回答をもとにさらに詳しい状況</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●第1次調査:居宅介護事業所 1,322 か所、在宅介護支援センター 213 か所、地域包括支援センター 68 か所</li> <li>●第2次調査:①第1次調査で該当者がいる(いた)居宅介護支援事業所等、②該当家族(事業所経由)</li> <li>●第3次調査:同意を得られた家族</li> </ul>
東京都	2008 年	東京都	調査員による訪問調査	本人・家族の状況	2007年度に実施した「東京都認知症専門医療機関実態調査」を通じて明らかになった若年性認知症の診断・治療を行っている医療機関の協力を得て、同意を得た都内在住の若年性認知症の患者との家族 47 世帯

練馬区	2012年	練馬区	<ul style="list-style-type: none"> <li>●一次調査(介護事業所・高齢者相談センター(地域包括支援センター)への調査)</li> <li>●二次調査(若年性認知症事例の支援実績がある事業者・者へのアンケート調査)</li> <li>●介護家族への調査(アンケート調査)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●一次調査:若年性認知症への支援実績</li> <li>●二次調査:支援の内容等</li> <li>●介護家族への調査:本人の状況、相談先等、介護サービス等の利用状況、介護者の状況</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●一次調査:区内全ての介護保険サービス事業所・者および高齢者相談センター(地域包括支援センター)</li> <li>●二次調査:若年性認知症事例の支援実績がある事業者・者</li> <li>●介護家族への調査:二次調査を行った事業者・者および介護家族の会を通じて、介護家族へアンケート調査を実施</li> </ul>
滋賀県		滋賀県	<ul style="list-style-type: none"> <li>●一次調査:医療機関・介護サービス事業所等へのスクリーニング調査</li> <li>●二次調査:若年性認知症の本人・家族へのアンケート調査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●一次調査:若年認知症患者・利用者の人数、性別、年齢階級、居住市町名、診断名</li> <li>●二次調査:本人の状況等、診断(医療)、介護(サービス・家族)、意見・要望</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●一次調査:県内の医療機関・介護サービス等 1,824か所</li> <li>●二次調査:若年性認知症の本人(家族)335</li> </ul>
奈良県	2011年	奈良県	<ul style="list-style-type: none"> <li>●一次調査(医療機関・介護事情書・障害福祉サービス事業所・地域包括支援センター・市町村へのアンケート調査)</li> <li>●二次調査(医療機関・介護事情書・障害福祉サービス事業所・地域包括支援センター・市町村・</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●若年性認知症者の利用の有無等や若年性認知症者に対する対応等</li> <li>●個々の若年性認知症者の状況やニーズ</li> <li>●具体的な問題点や課題</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●一次調査:県内の医療機関、介護保険事業所、障害福祉サービス事業所、市町村介護保険担当課、障害福祉担当課、保険医療担当課、地域包括支援センター</li> <li>●二次調査:一次調査において若年性認知症が「いる」と回答した機関と、それらの機関を実際に利用している本人・家族</li> <li>●インタビュー調査:医療機関、介護保険事業所、障害福祉サービス事業所、本人・家族、精神保健福祉センター、保健所、市町村・地域包</li> </ul>

			本人・家族へのアンケート調査)●事業所・個人へのインタビュー調査		括支援センター
大阪市	2007 ～ 2009 年	大阪市	●相談事例調査(保健福祉センター・地域包括支援センターへのアンケート調査) ●医療機関調査	●相談事例調査:初回相談時の実態を把握するため、相談機関毎の相談事例数、相談事例毎の相談者の状況、本人の状況、主たる介護者の状況、要介護度別の介護保険サービスの利用状況、症状に気付いた年齢と診断年齢、相談の趣旨の他、相談窓口の職員が感じている課題等 ●医療機関調査:認知症患者及び若年認知症患者の診察実績、認知症の診療体制と診療の状況、若年認知症患者への具体的な対応、周辺症状の対応等における困難なこと、生活支援の具体的な内容、今後必要な支援策、若年認知症の診療等に関する意見・要望・提案等	●相談事例調査:保健福祉センター、地域包括支援センター ●医療機関調査:市内の「神経内科」・「精神科」・「心療内科」・「脳神経外科」を診療科目に持つ医療機関、市内の「内科」を診療科目に持つ医療機関の一部うち、一定の条件に該当する医療機関等
兵庫県	2013 年	兵庫県	アンケート調査(医療機関、市町関連部局・地域包括支援センター、居住介護支援事業所、本人・家族)	●本人・家族へのアンケート調査:若年性認知症支援ハンドブックの認知度、家族(主たる介護者の方)の現在の状況、家族が日頃から感じること、若年性認知症の本人の状況について、診断や受診に関すること、年金や障害、介護保険サービスの状、社会参加や仕事について、現在もっとも必要と思われるもの	医療機関 943 か所、市町関連部局 41 か所、地域包括支援センター 186 か所、居宅介護支援事業所 1,751 か所、若年性認知症の本人・家族(有効回収 139)

広島県	2010 ～ 2011 年	広島県	<ul style="list-style-type: none"> <li>●医療機関に対する調査</li> <li>●若年性認知症本人・家族に対する調査</li> <li>●相談窓口に対する調査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●医療機関に対する調査:診療の有無・件数、性別・処遇携帯の内訳、診断状況、現在の合併疾患、認知症の程度等</li> <li>●若年性認知症本人・家族に対する調査:本人及び家族(介護者)の基本属性、認知機能・身体機能・周辺症状の状況、経済状況の変化、各種制度の利用状況、介護の負担度、困っていることや要望等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●医療機関に対する調査:神経内科、精神科、神経科、診療内科、脳神経外科、老年内科等を有する医療機関、上記に属さない認知症サポート医のうち内科医</li> <li>●若年性認知症本人・家族に対する調査:同意を得た若年性認知症本人・家族</li> <li>●相談窓口に対する調査:市町、地域包括支援センター、保健所、広島市精神保健福祉センター、広島県立総合精神保健福祉センター、広島県介護予防研修相談センター、市町社会福祉協議会、認知症の人と家族の会広島県支部</li> </ul>
出雲市	2012 年	出雲市、認知症の人と家族の会島根県支部、出雲高齢者安心支援センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>●1次調査(医療機関、施設等へアンケート調査)●2次調査(1次調査で対象者の利用が「ある」と回答のあった施設へアンケート調査)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●1次調査:出雲市内在住で、平成23年4月1日～平成24年3月31日までの1年間に「発症年齢が65歳未満」かつ「調査時点(平成24年8月1日)」における年齢(死亡の場合は死亡年齢)が、69歳以下」の若年性認知症が、施設を利用(受診、入院、入所、通所、対応等)した際の性別、生年月日、現在の処遇●2次調査:本人の属性や原因疾患、要介護認定状況、日常生活自立度、障害者手帳・年金等受給、初期症状、就労状況、受診同行者、本人・介護者が困っていることや相談できる機関、支援についての意見聴取</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●1次調査:出雲市にある出雲医師会所属の医療機関・高次脳機能障害ディケア・入院施設のある医療機関・出雲市歯科医師会所属の歯科診療所・居宅会支援事業所・介護保険法に基づく入所系施設・認知症高齢者グループホーム・小規模多機能型居宅介護・指定障がい者相談支援事業所、計372か所。●2次調査:1次調査で対象者の利用が「ある」と回答のあった施設37か所</li> </ul>

<p>沖縄県</p>	<p>2013年～2014年</p>	<p>沖縄県、認知症の会沖縄県支部準備会</p>	<p>●第1次調査(医療機関・事業所へのアンケート調査) ●第2次調査(本人・家族へのアンケート調査)</p>	<p>●第1次調査:県内の若年性認知症の人数、事業所における支援課題 ●第2次調査:若年性認知症者および介護家族の現状のニーズ</p>	<p>●第1次調査:医療機関315か所、事業所825か所 ●第2次調査:本人・家族(509人)</p>
------------	--------------------	--------------------------	---	---	---

